

神の聖域

キー・ヴァース「イスラエルの人々に聖なる聖所を造らせなさい。あなたがたは、この幕屋とその備品を、わたしが示す型にしたがって、正確に建てなければならない。」
出エジプト記25:8-9

厳選された聖典
出エジプト記25章から27章

幕屋建設のためにモーセに与えられた指示は、出エジプト記25-

27章にあり、その工事の実行については35-40章に記されている。聖なる部分と至聖なる部分からなる幕屋は、神の言葉によれば「聖所」であった。この幕屋は、金で覆われたシッティム（アカシア）の板を銀のソケットにはめ込み、同じく金で覆われた同じ木の棒でしっかりと固定したものである。
出エジプト記26:15-30

1キュビトの長さが18インチであることから、この建物は幅15フィート、高さ15フィート、長さ45フィートで、正面または東の端に開口していた。大きな白い亜麻布で覆われ、青、紫、緋色のケルビムの像が織り込まれていた。(1-

3節)。開いている端、つまり建物の前面は、覆いの布と同じような材質の幕で閉じられており、「戸」、つまり第一のベールと呼ばれていた。(36節と37節)。同じ布で、同じようにケルビムの絵が描かれたもう一つの布は、「ベール」または第二のベールと呼ばれ、幕屋を二つの区画に分けるように吊るされた。(31-

33節)。第一の区画は、幅15フィート、長さ30フィートで、"聖所

"と呼ばれた。第二の区画は、幅15フィート、長さ15フィートで、"至聖所

"と呼ばれた。この二つの区画が幕屋を構成していた。幕屋の上には、避難のために追加の覆いが建てられた。一つはカシミヤの布かヤギの毛で、もう一つは赤く染めた雄羊の皮で、一番上の覆いはアザラシの皮でできていた。

神がイスラエルの民に命じて荒野に建てさせた幕屋と、それに関連するすべての宗教的な奉仕や儀式（）は、使徒パウロが言うように、"影であり、来るべき良いことのおぼろげな予告であった"（ヘブル10:5; 8:5; コロサイ2:16-17）。（ヘブル10:1; 8:5; コロサイ2:16-

17）。イスラエルの民が毎年繰り返させられたこれらの儀式は、イエスを中心とする「より良いいけにえ」を指し示すものであり、それはイエスの初降臨の時に導入されるものである。（ヘブル9:19-24）。これらはイスラエルだけでなく、全人類に永遠の救いをもたらすのである。1テモテ2:5-6

神が幕屋建設の細部に至るまで、どれほど注意深く導き、指示されたかを理解されたい。神はモーセを山に連れて行き、すべての部分とその作り方について具体的な指示を与えた。「わたしがこの山であなたに示した型にしたがって、すべてを造りなさい。（ヘブル8:5、出エジプト25:40）。神の「聖所」の建設に関して、モーセを通して神からイスラエルの民に与えられたすべての詳細は、神の指示に正確に従わなければならなかった。民は、不注意で違反した場合に厳しい罰則を受けることがないように、こ

れらのことを特に意識していなければならなかった。
。

これらのすべての整えが、"聖所の奉仕者であり、
人ではなく主が立てられた真の幕屋の奉仕者
"であるイエスを指し示していることを、私たちは
どれほど感謝していることだろう。ヘブル8:2